

第175回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成24年1月5日(木) 11:00~11:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)
片山 貴之(副委員長)
青木 敬信
古磯 勝子
片岡 真理
森内 律子
島田 恭子

(3) 放送事業者側出席者 神野 俊彦(代表取締役社長)
佐藤 望(放送部長)
古寺 雄史(放送部主任)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換
11月18日に放送した「川村卓也のたくやんちゃレディオDX!」について、
試聴と意見交換を行った。

事業者 この番組は、毎週金曜日の夜8時から30分間の録音番組として放送しているもので、
地元のプロバスケットチーム・リンク栃木ブレイクスの中心選手・川村卓也選手が、
パーソナリティを務め、バスケットの話からプライベートの話まで、
賑やかに本音トークで展開する番組です。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：川村選手の話には、伝えたい熱意を感じるし、本人も楽しみながら話している印象を持った。気さくな人柄が感じられて、とても好感が持てた。

委員：川村選手の語り口が温かく、バスケットにあまり関心がなかったが、ずっと入っていけるような楽しいトークだった。応援したくなった。

委員：川村選手は、自然体で、飾らない、いいお兄さんのようなキャラ。ゲストの田臥選手からも、うまく話を引きだそうとしていた。田臥選手とは、ざっくばらんに率直に物事を言い合える関係だということが伝わってきた。

委員：30分の番組の中に曲が2曲かかっていたが、トークと音楽のバランス的には、もう1曲くらいあると、より心地よく聞けるかと思った。

委員：チームメイト同士の内輪話を中心だったこともあり、トークに広がりがなく、2人に興味のない人は、退屈にきこえてしまうのではないかという印象を持った。その場の流れで話を進めるのではなく、何を伝えたいのか、明確なイメージを持って、話をしてほしい。

委員：2週ある田臥選手とのトークの1週目ということだったが、最後は、内容が中途半端に終わったような気がした。次の週、こんなことを聴いてみたいとか、予告的なことも言っていいのではないか。

委員：川村選手は、トークが上手だったが、発音や滑舌には多少違和感を感じる所もあった。番組進行のためのナレーションの部分で、より発声や言葉に注意して話すと、番組としてメリハリが出てくるのではないか。

委員：リンク栃木ブレックスのファンのみならず、一般の人にも意識した番組作りをしてほしい。今後、他の競技のプロスポーツ選手や、チームメイト以外のゲストとのトークを聴きたい。

委員：川村選手は、プロバスケット界で名の通った選手であり、そのような選手のトーク番組を放送していることは、局のイメージアップに、貢献が期待出来るのではないか。地元の高校生と対談するなどして、スポーツに関わる先輩的な立場で、プロスポーツ選手ならではのトーク番組を期待したい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を3月8日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 1月29日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし